



2019年12月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2019年8月9日

上場会社名 OATアグリオ株式会社 上場取引所 東
 コード番号 4979 URL https://www.oat-agrio.co.jp
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 森 明平
 取締役 (人事部 総務部 経理
 部 情報企画室 経営企画室
 問合せ先責任者 (役職名) 品質保証室 知財・法務室 管 (氏名) 松本 健次 TEL 03-5283-0262
 (掌)
 四半期報告書提出予定日 2019年8月14日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無：無
 四半期決算説明会開催の有無：無

(百万円未満切捨て)

1. 2019年12月期第2四半期の連結業績（2019年1月1日～2019年6月30日）

(1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2019年12月期第2四半期	12,901	35.5	1,834	△17.1	1,673	△24.7	1,074	△30.0
2018年12月期第2四半期	9,518	8.5	2,212	4.7	2,221	7.0	1,535	9.1

(注) 包括利益 2019年12月期第2四半期 601百万円 (△56.3%) 2018年12月期第2四半期 1,378百万円 (△2.3%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2019年12月期第2四半期	198.47	—
2018年12月期第2四半期	283.66	—

(注) 潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2019年12月期第2四半期	31,655	7,889	22.5	1,317.16
2018年12月期	29,980	7,518	22.5	1,244.79

(参考) 自己資本 2019年12月期第2四半期 7,128百万円 2018年12月期 6,737百万円

(注) 2019年12月期第2四半期連結会計期間において、企業結合に係る暫定的な会計処理の確定を行っており、2018年12月期に係る各数値については、暫定的な会計処理の確定の内容を反映させております。

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2018年12月期	—	0.00	—	40.00	40.00
2019年12月期	—	0.00	—	—	—
2019年12月期（予想）	—	—	—	40.00	40.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

3. 2019年12月期の連結業績予想（2019年1月1日～2019年12月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	22,995	50.5	1,869	6.0	1,676	△4.6	1,007	△19.9	186.06

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更：有

② ①以外の会計方針の変更：無

③ 会計上の見積りの変更：無

④ 修正再表示：無

(注) 詳細は、添付資料P.8「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項(会計方針の変更)」をご覧ください。

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）

2019年12月期2Q	5,536,000株	2018年12月期	5,536,000株
-------------	------------	-----------	------------

② 期末自己株式数

2019年12月期2Q	123,863株	2018年12月期	123,817株
-------------	----------	-----------	----------

③ 期中平均株式数（四半期累計）

2019年12月期2Q	5,412,145株	2018年12月期2Q	5,412,261株
-------------	------------	-------------	------------

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	3
(1) 四半期連結貸借対照表	3
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	5
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間	5
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間	6
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	7
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(会計方針の変更)	8
(セグメント情報等)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間(2019年1月1日～2019年6月30日)におけるわが国経済は、政府の経済政策による雇用・所得環境の改善が続き、景気は緩やかな回復基調が続いているものの米中貿易摩擦の影響から、中国向けを中心とした輸出の減少や生産活動の低迷が見られるなど、景気減速感が強まりました。

このような情勢の下、当第2四半期連結累計期間における売上高は129億1百万円(前年同四半期比33億83百万円増加、同35.5%増)、営業利益は18億34百万円(前年同四半期比3億77百万円減少、同17.1%減)、経常利益は16億73百万円(前年同四半期比5億48百万円減少、同24.7%減)、親会社株主に帰属する四半期純利益は10億74百万円(前年同四半期比4億61百万円減少、同30.0%減)となりました。

上記の通り当社グループの第2四半期累計期間における売上高は、国内農薬販売の減少もありましたが、2018年に買収したスペインのLIDA PLANT RESEARCH, S.L.社(CAPA ECOSYSTEMS, S.L.社を含む)及びオランダのChrysal社(Blue Wave Holding B.V.)を連結に取込んだため前年同四半期比で増加しました。

一方、上記2社買収に伴う費用負担や単体研究開発費が増加したことにより、営業利益は前年同四半期比で減少しました。

当社グループはアグリテクノ事業の単一セグメントであります。各分野別の業績の状況につきましては以下のとおりであります。

農薬分野においては、国内向け殺菌剤「ガッテン」から新規殺菌剤「ショーチノスケ」への全面切り替えの進捗が遅れたこと、また海外向け殺菌剤「カリグリーン」の米国における流通在庫調整により、売上高が減少しました。その結果、農薬分野全体の売上高は69億77百万円(前年同四半期比2億95百万円減少、同4.1%減)となりました。

肥料・バイオスティミュラント分野においては、アジアの主要販売地域であるインドネシアの干ばつ及びインドでの登録の遅れにより「ATONIK」関連の売上高は前年同四半期比で減少しましたが、海外子会社2社を連結に取込んだため、売上高は増加しました。その結果、肥料・バイオスティミュラント分野全体の売上高は59億24百万円(前年同四半期比36億79百万円増加、同163.9%増)となりました。

(2) 財政状態に関する説明

①資産、負債および純資産の状況

当第2四半期連結会計期間末の総資産は316億55百万円で、前連結会計年度末に比べ16億75百万円の増加となりました。これは主に現金及び預金の増加3億77百万円、受取手形及び売掛金の増加22億51百万円によるものであります。

負債につきましては237億66百万円で、前連結会計年度末に比べ13億5百万円の増加となりました。これは主に短期借入金の減少53億36百万円、未払法人税等の増加4億18百万円、長期借入金の増加59億35百万円によるものであります。

純資産は78億89百万円で、前連結会計年度末に比べ3億70百万円の増加となりました。これは主に利益剰余金の増加8億57百万円、為替換算調整勘定の減少4億91百万円によるものであります。

②キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結累計期間における現金及び現金同等物は26億76百万円となり、前連結会計年度末に比べ3億81百万円増加しました。

営業活動によるキャッシュ・フローは、3億34百万円の収入(前年同四半期は13億56百万円の支出)となりました。主な収入要因は税金等調整前四半期純利益16億58百万円、減価償却費3億89百万円、たな卸資産の減少5億23百万円等によるものであります。また、主な支出要因は売上債権の増加23億11百万円等によるものであります。

投資活動によるキャッシュ・フローは、2億80百万円の支出(前年同四半期は1億10百万円の支出)となりました。主な支出要因は有形固定資産の取得による支出2億8百万円等によるものであります。

財務活動によるキャッシュ・フローは、3億29百万円の収入(前年同四半期は42億79百万円の収入)となりました。主な収入要因は長期借入れによる収入69億44百万円等によるものであります。また、主な支出要因は短期借入金の減少51億15百万円、長期借入金の返済による支出12億2百万円、配当金の支払額2億16百万円等によるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

連結業績予想につきましては、2019年2月14日の「2018年12月期 決算短信」で公表いたしました通期の連結業績予想に変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2018年12月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2019年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	2,474	2,852
受取手形及び売掛金	5,135	7,387
商品及び製品	3,629	3,069
仕掛品	552	606
原材料及び貯蔵品	1,469	1,410
その他	663	881
貸倒引当金	△65	△31
流動資産合計	13,859	16,174
固定資産		
有形固定資産	3,219	3,502
無形固定資産		
のれん	9,965	9,105
その他	1,961	1,828
無形固定資産合計	11,927	10,934
投資その他の資産	974	1,043
固定資産合計	16,120	15,480
資産合計	29,980	31,655
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	2,489	2,502
短期借入金	13,782	8,446
未払法人税等	216	635
返品調整引当金	15	17
売上割戻引当金	38	143
賞与引当金	33	39
その他	1,884	1,838
流動負債合計	18,461	13,622
固定負債		
長期借入金	2,860	8,795
退職給付に係る負債	219	237
繰延税金負債	518	449
その他	402	660
固定負債合計	3,999	10,143
負債合計	22,461	23,766

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2018年12月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2019年6月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	461	461
資本剰余金	2,410	2,410
利益剰余金	4,281	5,139
自己株式	△161	△161
株主資本合計	6,991	7,849
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	△56	△29
為替換算調整勘定	△179	△671
退職給付に係る調整累計額	△18	△20
その他の包括利益累計額合計	△254	△720
非支配株主持分	781	760
純資産合計	7,518	7,889
負債純資産合計	29,980	31,655

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第2四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2018年1月1日 至 2018年6月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2019年1月1日 至 2019年6月30日)
売上高	9,518	12,901
売上原価	5,047	6,967
売上総利益	4,470	5,933
販売費及び一般管理費	2,258	4,099
営業利益	2,212	1,834
営業外収益		
受取利息	8	8
受取配当金	3	4
受取技術料	—	41
為替差益	11	—
その他	3	27
営業外収益合計	26	82
営業外費用		
支払利息	16	140
支払手数料	—	76
為替差損	—	23
その他	0	3
営業外費用合計	17	243
経常利益	2,221	1,673
特別利益		
固定資産売却益	0	0
特別利益合計	0	0
特別損失		
固定資産除却損	0	0
関係会社株式評価損	1	15
特別損失合計	1	15
税金等調整前四半期純利益	2,220	1,658
法人税、住民税及び事業税	676	644
法人税等調整額	13	△72
法人税等合計	690	571
四半期純利益	1,530	1,086
非支配株主に帰属する四半期純利益又は非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	△4	12
親会社株主に帰属する四半期純利益	1,535	1,074

(四半期連結包括利益計算書)
 (第2四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2018年1月1日 至 2018年6月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2019年1月1日 至 2019年6月30日)
四半期純利益	1,530	1,086
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△27	26
為替換算調整勘定	△126	△510
退職給付に係る調整額	1	△1
その他の包括利益合計	△152	△484
四半期包括利益	1,378	601
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	1,414	608
非支配株主に係る四半期包括利益	△36	△6

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2018年1月1日 至 2018年6月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2019年1月1日 至 2019年6月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	2,220	1,658
減価償却費	115	389
のれん償却額	15	360
役員退職慰労引当金の増減額(△は減少)	△1	—
退職給付に係る負債の増減額(△は減少)	3	19
貸倒引当金の増減額(△は減少)	△3	△28
返品調整引当金の増減額(△は減少)	△2	1
売上割戻引当金の増減額(△は減少)	122	104
賞与引当金の増減額(△は減少)	3	5
受取利息及び受取配当金	△11	△13
支払利息	16	140
支払手数料	—	76
為替差損益(△は益)	△10	△13
固定資産除売却損益(△は益)	△0	△0
関係会社株式評価損	1	15
売上債権の増減額(△は増加)	△3,153	△2,311
たな卸資産の増減額(△は増加)	△476	523
仕入債務の増減額(△は減少)	393	62
その他	△257	△280
小計	△1,024	708
利息及び配当金の受取額	11	13
利息の支払額	△14	△140
法人税等の支払額	△329	△247
営業活動によるキャッシュ・フロー	△1,356	334
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の純増減額(△は増加)	181	2
有形固定資産の取得による支出	△175	△208
無形固定資産の取得による支出	△4	△63
投資有価証券の取得による支出	△102	—
関係会社株式の取得による支出	△15	—
敷金の差入による支出	△3	△0
その他	9	△10
投資活動によるキャッシュ・フロー	△110	△280
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額(△は減少)	4,507	△5,115
長期借入金の返済による支出	△17	△1,202
長期借入れによる収入	—	6,944
リース債務の返済による支出	△3	△69
自己株式の取得による支出	△0	△0
配当金の支払額	△194	△216
非支配株主への配当金の支払額	△12	△11
財務活動によるキャッシュ・フロー	4,279	329
現金及び現金同等物に係る換算差額	△6	△1
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	2,806	381
現金及び現金同等物の期首残高	1,632	2,294
現金及び現金同等物の四半期末残高	4,439	2,676

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(会計方針の変更)

当社グループのIFRS適用子会社は、第1四半期連結会計期間よりIFRS第16号「リース」(2016年1月公表)(以下、IFRS第16号)を適用しております。IFRS第16号の適用にあたっては、経過措置として認められている、本基準の適用による累積的影響を適用開始日に認識する方法を採用しております。

本基準の適用に伴い、四半期連結貸借対照表は、有形固定資産387百万円、流動負債のその他126百万円及び固定負債のその他287百万円が増加しております。

また、この変更による当第2四半期連結累計期間の損益に与える影響は軽微であります。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

当社グループは、アグリテクノ事業の単一セグメントであるため、記載を省略しております。